

研究開発課題中間評価結果

事業名（領域名）	次世代治療・診断実現のための創薬基盤技術開発事業 (RNA 標的創薬技術開発)
公募研究開発課題名	標的 RNA の機能解析基盤技術開発
評価研究開発課題名	機能解析に基づく RNA 標的創薬のための統合 DB と AI システムの構築
代表機関名	国立大学法人大阪大学
研究開発代表者名	中谷 和彦
所属・役職	産業科学研究所・教授
全研究開発期間	令和 3 年度開始～令和 7 年度終了予定

【評価結果】

良い／総合的に計画どおりに進捗している / 一部計画に未達があったが総合的には計画どおりに進捗したと認められる

【評価コメント】

プロジェクトの強みとして、標的 RNA の機能解析基盤技術の開発が概ね計画通りに進捗しており、一部のプロジェクトでは計画を超えた進展も見られている点が評価された。データベースと AI 技術の統合が将来的な利活用の可能性を広げる有益なプロジェクトであると期待された。

一方で一部のプロジェクトの進捗が遅れている点や知財の確保が不十分である点が指摘された。標的予測 AI の構築と実際の実験結果とのリンケージが不透明であり、特許性が弱いとの指摘もあり、また、疾患の原因となる ncRNA の探索が必要であるとの懸念も示された。

将来の展開としてデータベースの充実化が期待され、各項目で中間目標が達成されているとされたが、データベースの内容や将来の利用方法の具体的な設定が必要であるとの指摘もあった。